

◆令和4年3月22日開催庁議◆

1. 市長挨拶

- 本日、組織機構及び人事の内示を行う。各部において様々な考えがあるかと思うが、職員に限られている中で各部署に配置を行い、各職員の能力を生かした異動・昇任とした。現在、緑化フェア事業やワクチン接種事業などがあり、通常の業務が厳しいと思うが、来年度一年、その中で予定している事業を執行していただきたい。
- 本日で議会が終わり、予算案が可決される予定である。長い期間の開催であったが、予定している全ての案件について承認いただけると思う。各所管においては準備等についてご尽力感謝申し上げます。
- 今年は積雪が多く、各所管においては苦勞したと思う。特に建設部においては未だかつてない積雪量だったため、これまでとは違う対応も必要だったかと思う。今後、雪害の観点に立って検証を行い、対応する体制などについて検討していただきたい。
- 先日、熊本へ行き、緑化フェアの開会式等へ出席した。熊本は大きいまちであり、恵庭と比較するものではないが、熊本城や熊本市役所付近が再開発され、その周知等も含め誘致を行ったのではないかと思う。5月22日までイベントが実施されているため、興味があれば行ってみたい。熊本は大きなまちの一部で行っているが、恵庭は市全体、「オール恵庭」として市民とともに成功、おもてなしをしたいと考えている。各所管においては何ができるかなど推進室を中心に考えてほしい。
- 今年度最後の庁議となるが、今年は副市長や教育長が変わり、またコロナ禍が継続している中、庁議を1年間開催することができた。職員においてはそれぞれの業務を遂行していただき、改めて感謝申し上げます。また今年度で退職される職員においては長きにわたりご苦勞様でした。今後も何らかの形で関わると思うが、改めて無事退職される部長職にお祝い申し上げます。

2. 議事

(1) 令和4年度人事異動内示について【総務部】～要点抜粋

◎資料に基づき、総務部長説明

- 令和4年度の組織機構の概要については、「第5期恵庭市総合計画」や「恵庭市総合戦略」を推進し、アクションプログラムを効率よく推進することのできる体制とした。
- 令和4年度は、前年度に16名の退職（定年退職9名、早期退職者2名、自己都合退職等5名）があり、昨年度の欠員分を含め15名の採用を行い、定員管理上の職員数は528名となる。令和3年度から第3次定員管理計画を推進することから、今後も計画的な採用・配置を行っていく。
- 主要な内容として、組織全体では、課の統合や事務移管などを行い、効率的・機能的な行政運営を図る体制とした。
- 総務部では、総務課で実施している情報処理業務と自治体DX業務を一体的に行うた

め、企画課から自治体DX業務を移管し、担当主査を設置した。

○企画振興部ではシティセールスを積極的に推進するためシティセールス担当主幹を設置した。

○生活環境部では市民生活課と環境課を統合して生活環境課とし、地球温暖化対策を推進するためゼロカーボン担当主幹を設置した。

○保健福祉部では、令和5年度に開催される全国高等学校総合体育大会に対応するため高校総体主幹を新設した。

○異動に際しては、関係各部との組織・機構に対するヒアリングや人事異動ガイドラインに基づき、職員の意向調査の実施と各所属長と異動対象職員との面談結果を参考とし、職員の意識向上、適材適所の職員配置に努めた。

○今回の異動者総数は218名となり、昇任者数は部長級2名、次長級4名、課長級10名、主査級11名の計27名となった。なお、令和4年度の組織において女性管理職は12名であり、管理職に占める女性割合は12.6%となった。

(2) 令和5年度以降の政策的事業における恵庭市個別施設計画(第1期)の位置づけについて【総務部】～要点抜粋

◎資料に基づき、総務部長説明

○恵庭市公共施設等総合管理計画に基づき、恵庭市個別施設計画において各公共施設の機能の方向性を「維持」「検討」「廃止」などに、施設の方向性を「維持」「検討」「売却」などに分類し、今後10年間の修繕及び改修計画等を明記している。

○令和5年度予算より、本計画の対象となっている施設における修繕等については計画に位置付けられていることを条件とし、位置付けられていない事業については要求できないこととする。なお緊急的なものについてはその都度補正予算等に対応することとする。

(3) 行政手続等の押印見直しについて【企画振興部】～要点抜粋

◎資料に基づき、企画振興部長説明

○押印の見直しにおいて全庁照会を行い、既に廃止・廃止手続き中のものが31様式、廃止可能なものが953様式、廃止不可が224様式、国・道の動向を注視中が135様式の結果となった。

○廃止不可や国・道の動向を注視中の様式において、事務局にて廃止の可能性のある198様式については今後、各課へ再検討を求める予定である。

○廃止等の手続きについては、6月1日付廃止を目途に5月中に各所管において事務を進めるよう依頼予定である。

○廃止不可、動向を注視中の様式の多くは認印をもらっているものが多いが、裁判等において個人の認証の効力は乏しいとされており、国では認印を全て廃止している。

(副市長)

会計や監査等の関係もあるが、廃止できる可能性があるものについては市民が使用するものを中心に廃止・簡素化に努めてほしい。

(市長)

廃止可能な様式は既に事務が進められているのか。

→調査時に廃止可能と回答があったものであり、要綱や規則の改正が必要なものもあるため、法制担当と調整しながら進めていきたい。

(4) ポストコロナのまちづくり戦略形成事業における政策提言について

【企画振興部】～要点抜粋

◎資料に基づき、企画振興部長説明

- 本事業は、ポストコロナを見据えた新しいまちづくりの推進を目的に、若手職員が中心となって進めている政策研究事業であり、今年度4月に開催した小磯先生の職員向け講演会のアンケート結果をもとに、5つのテーマを設定し、テーマごとに3名の職員がグループとなり、調査・研究を進めてきた。
- 昨年12月に中間報告会を開催し、市長、副市長、政策アドバイザーの小磯先生、部長職をはじめとする関係職員や議員から意見をいただいた。報告会開催以降も各グループにおいて議論を重ね、先日各班より提言書を市長に提出した。委員が所属している部署においては、本事業にご協力をいただき感謝申し上げます。
- 提言内容については、後日職員ポータルへ情報発信するとともに政策提言に対する職員アンケートも実施予定である。管理職員の回答は必須とするため、ご協力願う。
- 今後の推進方法については政策提言を受け、事務局で提言内容を事業毎に分割・リスト化し、担当所管の割り当てを行い、年度末頃を目途に全庁に共有する。4月以降、担当所管において、事業化を前提とした推進方法等を検討いただき、5月末を目途に検討結果について報告してもらう予定である。検討結果をふまえ、企画課において総合戦略「施策の横断的展開」への反映について検討する。12月までに総合戦略へ反映し、1月にデジタル化を横ぐしとして、各テーマを連携させ、地方創生推進交付金に申請したいと考えている。早期に事業化が必要なものは令和4年度補正予算や令和5年度政策予算要求において対応したいと考えているため、各所管においては事業化に向け前向きに検討を進めていただきたい。

(市長)

各所管において提言に関する事業があると思う。各施策については原部で考えることが大切と思うが、他部の意見も参考にし、どう具現化するか、異なる進め方があるかなど議論を進めていただきたい。提言の中には短期的なものもあれば中長期的なものも

あるため、それらを整理しながら予算に活かせるものがあれば予算計上し、進めていた
だきたい。恵庭市全体を考えて提案された内容であるため、各部署においてきちんと取
り扱うよう伝えてほしい。

(5) ガーデンフェスタ北海道2022テーマソング「花のふるさと」手話うた版について
【保健福祉部】～要点抜粋

◎資料に基づき、保健福祉部長説明

- ガーデンフェスタ北海道2022のPR及び手話の普及・促進のためテーマソングで
ある「花のふるさと」を手話で表現した「手話うた版」の動画を作成した。
- 動画では理事者をはじめ、市職員や松恵小学校の緑の少年団など総勢150名に協力
いただき撮影を行った。
- 作成した動画は市HPや Facebook、YouTube に3月18日から公開している。庁議
終了後新着情報にて周知するが、職員においては動画の視聴をお願いしたい。

(6) ガーデンフェスタ北海道2022について【経済部】～要点抜粋

◎資料に基づき、経済部長説明

- 広報等で既に周知を行っているがガーデンフェスタ北海道の開催に伴い結成されたサ
ポーターズクラブが提案したクラフトビールの製造が決定した。商品名は「ガーデンク
ラフト」とし、札幌のクラフトビール会社が製造し、販売は市内の酒類販売店で行うほ
かイベントのメイン会場で販売を行う。現在、先行予約を行っているため、ぜひ予約し
ていただきたい。
- ボランティアの募集状況について、目標募集人数250名、延べ人数約750名に対し、
3月16日現在で177名、延べ人数858名と多くの方から申込みいただいた。3月
31日まで募集しているため、引き続き協力をお願いしたい。
- 営業参加の募集状況について、2月末をもって募集は終了したが、市内事業者18社、
市外事業者28社、道外事業者1社の申込みがあり、ほぼ出店枠が埋まっている状況で
ある。なお、販売物は焼き鳥など定番のものから、えびすかぼちゃを使用したクレープ、
道産食材を使用したエゾシカ焼きやピザなど幅広いメニューの提供を予定しており、
フェアを盛り上げるための一因になればと考えている。
- 新たな取組として、北海道文教大学附属高等学校の学生と市内飲食店によるコラボメ
ニューの開発を進めている。完成したメニューはフェア期間中に会場内で学生と飲食
店と一緒に販売を予定しており、開催期間中のPRにつなげていきたいと考えている。

(市長)

熊本の緑化フェアを訪れた際、ボランティアはコロナの関係により募集せず、職員と
業者で実施していた。熊本は職員が多いため行えたと思うが、恵庭市も同様に実施す

るのは難しい。応募のあったボランティアの中には3回以上参加してくれる方もいる。オープニングセレモニーや会場の案内や受付など人手がたくさん必要になる。

(副市長)

こうしたイベントは職員もなかなか経験することがないため、積極的参加してほしい。→ボランティアとは別に開閉会式などの受付などについて職員の動員をお願いしたいと考えている。詳細が決まり次第、改めて連絡するため各部においては協力をお願いしたい。

3. その他

【総務部長】

◎防衛問題セミナーの参加の御礼について

- ・職員へ参加案内を行っていた北海道防衛局主催の防衛問題セミナーが2月19日に開催された。定員1,500名のところ、970名程度の申込みがあった。参加者の中で一番多かったのは札幌市、次いで恵庭市が多く、195名の申込みがあった。参加していただいた職員に感謝申し上げる。